



令和7年度 5月号

矢中だより

大田区立矢口中学校

HPアドレス <https://www.ota-school.ed.jp/yaguchi-js>

風薫る5月です

校長 鈴木 孝洋

過ごしやすい季節となりました。日本語には様々な表現があります。「薫風(くんぷう)」というのは、初夏の心地よい頃合いの風を表します。また、「薫風」よりももう少し強さを増した爽快な風を「青嵐(せいらん)」といいます。初夏の香りとともに生命の息吹が感じられる美しい表現です。

心地よい風に吹かれながら、「コネクティング・ザ・ドッツ」(日本語では「点と点をつなげる」という意味になります)について少し考えてみましょう。これは、2005年、米国スタンフォード大学の卒業式でスティーブ・ジョブズ氏(Appleの共同創業者の一人)の有名なスピーチの中にあつた言葉の一つです。既に知っている方もいるかもしれませんが、「過去の経験が、その当時は思いもよらなかったことに生かせる状況」があるとジョブズ氏は語りました。ジョブズ氏は、学生の頃、カリグラフィーという「字をいかにカッコよく書くか」という授業に興味をもち、熱心に学習しました。でもその時は、この授業がどのように役立つかはわかっていませんでした。そして、ジョブズ氏がその後、Macのパソコンを開発していく中で、モニターの中に文字がどう浮かび上がるか、文字の美しさがどれほど人間の視覚認識に大切か、ということに気づきました。その時、彼の頭の中に浮かび上がってきたのは、10年前のカリグラフィーの授業です。「点(ドット)がつながった」と彼は言っています。世界中のパソコンに「フォント」という概念が生まれた瞬間です。過去にカリグラフィーを学んだ経験とパソコンという点と点が結びついて、「フォント」が創造されたのです。

後で何が生きてくるかわからないのが人生です。ジョブズ氏は「将来をあらかじめ見据えて、点と点をつなぎあわせることなどできません。できるのは、後からつなぎ合わせるだけです。」とも言っています。一見、無関係、無駄だと思える経験が、後になって役に立ち、新しいアイデアや成功につながることを意味しています。今、自分のために何かをすることが点となり、後から、それらがつながることで豊かな人生が実現するのです。

今、この時を大切に、一つ一つ獲得していく点が将来つながることを想像して、日々を過ごしてほしいと思います。

— 保護者の皆様へ —

学校からのお知らせを、まなびポケットで全校保護者の皆様へ配信を始めました。しばらくはテスト運用とさせていただきます、一部のお知らせの配信をおこなってまいります。現在は、配布するお知らせと配信についてタイムラグが生じる等がございます。校内の体制を整えて、安定した配信を行えるようにしてまいります。

矢中祭 運動部門に向けて

矢中祭運動部門に向けた練習が始まっています。プログラムの表紙絵が決定するなど準備も着々と進んでいます。気温が上がる日も増えてきましたので、熱中症予防に気を配りながら、けがなどにも注意をして充実した運動部門を全員の力で作り上げましょう。



表彰

ソフトテニス部

○第1ブロックソフトテニス大会
第3位

ペア
ペア

○第22回ワールドジュニアソフトテニス選手権春季大会
富士山リーグ女子の部 第3位



バレーボール部

○第78回区民スポーツ大会（春季）バレーボール大会
中学生男子の部 第3位

バスケットボール部

○第21回フラワーカップ
女子の部 準優勝
優秀選手賞 さん



卓球部

○大田区卓球シード権大会 男子団体の部 優勝

第74回大田区子どもガーデンパーティー

昨年度5年ぶりに開催され、大盛況となったガーデンパーティーが今年も4月27日（日）晴天の下、開催されました。矢口会場は多摩川大橋緑地でたくさんの協力団体によるプログラムが実施され、地域交流も深めることができました。矢口中学校からも多くのボランティアと六郷会場とのメッセージ交換を行うランナー、PTAの皆様が参加しました。

